

皮膚科学

責任者： 皮膚科学講座 教授

教育成果（アウトカム）：

皮膚疾患に対応するためには、内科・外科・病理学・微生物学・美容皮膚科学・その他の広範な知識、さらに倫理的概念や医師としての基本的態度、協調性が必要であり、習得することで皮膚科が心身を包括的に診ることが必要な診療科であることを理解し、一般医General physicianとして求められる皮膚科診療の基本事項をマスターすることができる。

（ディプロマポリシー：1,2,3,4,5,7）

行動目標（SBOs）：

- *1. 病歴で診断のおおよその見当がつけられるような正確な問診ができる。
- *2. 発疹学の用語を使って正確な皮疹の記載ができる。
- *3. 病歴と現症から、鑑別疾患を挙げることができる。
- *4. 皮膚の診察法（硝子圧法、皮膚描記法、Auspitz 現象、Nikolsky 現象、Darier 徴候、Köbner 現象など）を理解し、体験する。
- *5. 皮膚の検査法（生検、パッチテスト、MED 測定、真菌鏡検など）を理解し、体験する。
- *6. 皮膚科治療（軟膏療法、創傷処置、光線療法、凍結療法、手術、レーザー治療など）を理解し、体験する。
- *7. 皮膚科救急処置（熱傷、蕁麻疹、蜂刺されショックなど）につき、述べることができる。

特に留意すべき注意事項：

1. 患者さんが不快になる態度・身なりは厳に慎むこと。私語、ピアス、茶髪、マニキュア、腕組み、白衣のポケットに手を入れる、白衣のボタンをかけない、など。
2. 患者さんに自己紹介をして、きちんと挨拶ができること。
3. きちんとした教科書を持参すること。国試用の簡単な参考書では用が足りない。
4. ポリクリ講義は、担当医師の都合により時間を変更することがある。予め、担当医師に問い合わせること。また、指導医とは緊密に連絡をとり、指導医の都合のよい時間に指導を受けられるようにすること。
5. 実習内容は以下のとおり行う。
 - (1) 外来で、新患患者の予診をとり、病歴・所見の取り方、鑑別診断の考え方を実地で学ぶ。症例に応じて、生検・パッチテストなどの検査にも参加する。
 - (2) 入院患者を一人受け持って、手術や処置に参加する。担当医の指導のもと、木曜日に学会形式で症例発表を行う。

- (3) ミニレクチャーがあり、それぞれのテーマについて理解を深めてもらう。
- (4) 医局の症例検討会、セミナー、その他の抄読会など勉強会に参加する。

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各実習に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。さらに、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技についても再確認しておくこと。本内容は全実習に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[皮膚科学]

[第1週]

指導医師名：①皮膚科学講座教授 ②高橋和宏准教授 ③佐藤隆亮助教 ④遠藤幸紀講師 ⑤渡部大輔講師 ⑥大西正純特任講師 ⑦森志朋講師
⑧馬場俊右講師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション	外来実習	皮膚の基本構造と皮膚病理	皮膚の基本構造と皮膚病理、 症例検討会
[場 所] [指導医]	[医局] ②⑦	[外来] ②	[カンファランス] ③⑤	[カンファランス] ①②③④⑤⑥⑦⑧
火	外来実習	外来実習	手術見学	手術見学
[場 所] [指導医]	[外来] ①	[外来] ①	[手術室] ④⑥	[手術室] ②④⑥
水	外来実習	外来実習	病棟教授回診	症例のまとめ
[場 所] [指導医]	[外来] ④	[外来] ④	[西 3A] ①②⑦⑧	[カンファランス] ①③④⑤⑥
木	外来実習	外来実習	皮膚生検と外科手術	皮膚生検と外科手術、 発表会・セミナー・抄読会
[場 所] [指導医]	[外来] ①	[外来] ①	[外来] ⑥	[外来、医局] ①③④⑤⑥
金	外来実習	外来実習	口頭試問・まとめ・評価	口頭試問・まとめ・評価
[場 所] [指導医]	[外来] ②	[外来] ②	[医局] ①	[医局] ①

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
診断用機械	顕微鏡	4台	皮膚病理標本の観察、真菌検査等
視聴覚用機械	スライド映写機	2台	症例の供覧、学生の症例発表等。
診断用機械	紫外線照射装置	3台	種々の炎症性角化症、悪性リンパ腫などの疾患治療に用いる。
診断用機械	パッチテスト試薬器具一式	一式	接触皮膚炎、薬疹や金属アレルギーなどの診断に用いる。
診断用機械	液体窒素	1台	疣贅の治療に用いる。
診断用機械	真菌検査用具一式	一式	白癬、カンジダ症などの真菌治療の診断に用いる。
診断用機械	硝子圧など	一式	紅斑、紫斑の鑑別に用いる。
診断用機械	レーザー照射装置	1台	しみ、皺など皮膚の美容治療に用いる。
視聴覚用機械	PC一式 (PowerMacG5)	2台	臨床実習講義用スライド作成
視聴覚用機械	ノート型PC (PowerBookG4)	1台	臨床実習講義用スライド作成
診断用機械	密閉式水分蒸発量測定器 (H4300-S)	1台	臨床実習における皮膚生理機能測定実習
視聴覚用機械	デジタル一眼レフカメラ (EOS-10D)	1台	臨床実習講義用スライド写真撮影
視聴覚用機械	PC一式 (M9249J/A)	1台	臨床実習講義用スライド作成
視聴覚用機械	一眼レフ対応ダーマフォトモジュール	1台	臨床実習講義用スライド写真撮影
視聴覚用機械	ノートパソコン (インスパイロン 6000 インテル)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	コスメテックレーザーシステム一式 (キュリアPLUS)	1台	美容皮膚学における症例検討
視聴覚用機械	複写機 (imagioNEO C455/75)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (iMacG5)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	ノートパソコン一式 (PAVX570LS)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パワーステーション 1000VC (AE-8450)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (MacBookPro15.4Inch)	1台	臨床スライド画像作成
視聴覚用機械	顕微鏡デジタルカメラ (DP70-SET)	1台	病理スライド画像作成
視聴覚用機械	超音波皮膚皮下組織計測装置解析装置 (DermaScanC)	1台	臨床実習における腫瘍症例検討
視聴覚用機械	パソコン (VAIOtypeUVGN-UX70)	1台	皮疹画像記録用
視聴覚用機械	パソコン (2.0GhzIntelCoreDuo)	1台	皮疹画像記録用
視聴覚用機械	超音波皮膚皮下組織計測装置 (DermaScanC スキャニング本体)	1台	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	フィルムスキャナー (ケルスカン 9000ED)	1台	スライド (症例) 資料の学生への提示
視聴覚用機械	倒立顕微鏡 (CKX41N-32PH)	1台	水疱症標本の学生への提示
視聴覚用機械	ノートパソコン一式 (Mac2.16GHz)	1台	臨床実習の症例提示
視聴覚用機械	パソコン一式 (MA876J/A)	1台	〃
視聴覚用機械	フィルム収納箱 (KJ-0147-01)	1台	臨床実習の症例提示用
視聴覚用機械	デジタルカメラ (DSCT200)	1台	講義・実習用スライド写真用
視聴覚用機械	デジタルカメラ (1030SW)	一式	〃
視聴覚用機械	デジタルカメラ (EOS40D)	1台	〃

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：20 点
3. 技能：10 点
4. 問題解決能力：15 点
5. 技能試験：10 点
6. 指導医評価：10 点
7. ポートフォリオ：20 点